

若手企画委員会の活動

岡崎 悟志¹・原田 和生²

関西支部の若手企画委員会は、近藤昭彦前支部長の発案により、関西地域で生物工学会の次世代を担える人材の育成とネットワーク形成を目的に設立されました。従来の支部活動は中堅・シニア世代のアカデミアが中心となり企画、運営されたものが多かったのが実情ですが、本委員会では今まさに現場で研究活動に従事している若手が産（7名）、官（3名）、学（5名）（いずれも2015年8月現在）から集結し、「現場目線」で何か面白いことをやってみよう、と活動しています。メンバー同士分け隔てなく、産・官の立場からの要望を積極的に実現していくことが本委員会の特徴と言えます。これまで2か月に約1回の頻度で集まり、企画について話し合いを行ってきました。さらにそのような話し合いだけではなく、学会やセミナーの懇親会の限られた時間では難しかった膝を突き合わせた交流も行っています。委員は食品、醸造企業の研究者が多いこともあって食に対するこだわりが強く、また奇抜な嗜好を持つ委員もおり、委員会のアフターはさまざまな発見満載の大変有意義(?)なものになっています。

これまでの活動実績を紹介すると、2014年9月18日（木）～19日（金）の2日間、合宿形式のワークショップを関西セミナーハウス（京都市左京区）にて開催しました。本企画は、若手企画委員間のコミュニケーションを深めることに重点を置き、クロウズド（若手企画委員16名および講師3名のみ）での開催としました。また、各委員の研究・業務内容の紹介に加え、生物学とは直接関連しない業種で活躍されている方を講師に招き、研究開発だけでなく、業界に関する幅広い話題や、生物学分野とは異なる視点からの事業戦略などについてご講演いただきました。ライオン株式会社の大寺基靖様からはラクトフェリンのサプリを発売した経緯や失敗談、研究指針、人材育成の話など、大阪ガス行動観察研究所株式会社（現・株式会社オージス総研）の越野孝史様からは、実際に人間の行動を見ることによって意識下にある潜在的なニーズを探るとともにさまざまな改善を提案する「行動観察」について、株式会社Zaimの閑歳孝子様からは、スマートフォン向けアプリの家計簿サービス

「Zaim」の開発・運用について、それぞれ興味深い講演をいただきました。セミナー終了後には関西セミナーハウスに隣接する曼殊院門跡「菌塚」を参拝し、これまでの研究で犠牲になった菌への感謝と今後の企画の成功を祈念しました。

続いて、今年度予定している企画を紹介します。まず、本年10月27日（火）午後、日本生物工学会年次大会（鹿児島）において「パイオニアに学ぶイノベーションのつくり方～産業界若手研究者が知りたい生物学のマイルストーン～」と題してシンポジウムを開催します。本シンポジウムでは生物学の関係者で知らない人はいない、本当に「市場を切り拓いた」と呼べるような研究事例をご講演いただきます。株式会社林原の丸田和彦様には「トレハロース」、三菱レイヨン株式会社の水無渉様には「アクリルアミド」、摂南大学の西矢芳昭様には「臨床検査用原料酵素」、サントリーグローバルイノベーションセンター株式会社の田中良和様には「青いバラ」について、研究開発事例をそれぞれ紹介していただき、さまざまなイノベーションへの取組みを学ぶ機会にしたいと考えています。

さらに、本年11月12日（木）、京都市産業技術研究所において、関西の地域企業、公設試験研究所と若手研究者の交流ワークショップを開催する予定です。本ワークショップは地域企業と公設試験機関の研究・開発業務内容をご講演いただき、国内外の産業を支えるコア技術や独自の魅力を産学官の若手研究者、学生の方々に広く伝え、交流を推進することを目的としています。

以上のシンポジウム、ワークショップはいずれも、学会会員はもちろん、非会員の方でも参加できますので、皆様、お誘い合わせの上、是非ご参加ください。（ワークショップは事前申込が必要ですのでご注意ください。）

また、関西支部では高木博史新支部長、本田孝祐企画委員が中心になり、本年11月にタイのバンコクで開催されるThai Society of Biotechnology (TSB) 主催の国際シンポジウム (TSB 2015) においてジョイントセッションを企画しており、本企画委員も口頭発表を行う予定です。

委員会メンバー、活動実績、開催予定企画の詳細については関西支部HPに掲載しています。是非ご覧ください。今後も引き続き、次世代を担える人材の育成とネットワークの形成を目的とした企画を検討していく予定です。ご支援とご協力のほど宜しくお願い致します。

著者紹介 ¹大関株式会社 総合研究所 E-mail: satoshi.okazaki@ozeki.co.jp

²大阪大学大学院薬学研究科附属薬用植物園 E-mail: harada6@phs.osaka-u.ac.jp